

新潟大学 危機管理計画

- 国民保護事態における危機対応マニュアル -

2017.9.19

危機管理室

「Jアラートとは」「国民保護法とは」

全国瞬時警報システム(Jアラート):

緊急地震速報等の自然災害情報や、弾道ミサイル情報等の国民保護情報といった対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を、消防庁から人工衛星及び地上回線を用いて送信し、市区町村の同報系防災行政無線等を自動的に起動させることにより、住民に瞬時に伝達するシステムです。

国民保護法:

正式には「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」といい、武力攻撃事態等において、武力攻撃から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするための、国・地方公共団体等の責務、避難・救援・武力攻撃災害への対処等の措置が規定されています。

参考: http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList2_1.html

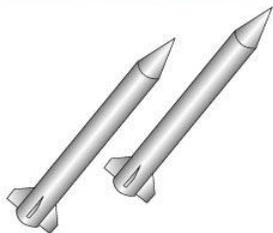
国民保護法の範囲: 武力攻撃事態

着上陸侵攻の場合



- ・船舶により上陸する場合は、沿岸部が当初の侵攻目標となりやすい。
- ・航空機による場合は、沿岸部に近い空港が攻撃目標となりやすい。
- ・国民保護措置を実施すべき地域が広範囲にわたるとともに、期間が比較的長期に及ぶことも想定されます。

弾道ミサイル攻撃の場合



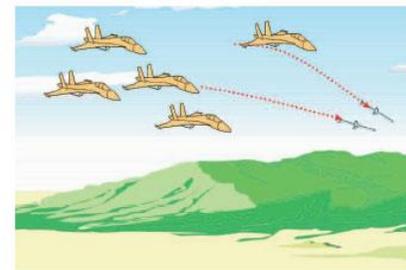
- ・発射された段階での攻撃目標の特定が極めて困難で、短時間での着弾が予想されます。
- ・弾頭の種類(通常弾頭であるのか、NBC※弾頭であるのか)を着弾前に特定するのが困難であり、弾頭の種類に応じて、被害の様相や対応が大きく異なります。

ゲリラ・特殊部隊による攻撃の場合



- ・突発的に被害が発生することも考えられます。
 - ・被害は比較的狭い範囲に限定されるのが一般的ですが、攻撃目標となる施設(原子力事業所などの生活関連等施設など)の種類によっては、大きな被害が生ずる恐れがあります。
- NBC兵器やダーティボムが使用されることも想定されます。

航空攻撃の場合



- ・弾道ミサイル攻撃の場合に比べ、その兆候を察知することは比較的容易ですが、予め攻撃目標を特定することが困難です。
- ・都市部の主要な施設やライフラインのインフラ施設が目標となることも想定されます。

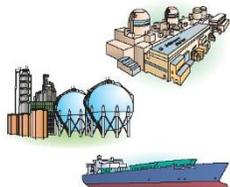
※NBCとは、「Nuclear」(核)、「Biological」(生物)、「Chemical」(化学)の総称。

内閣官房 国民保護ポータルサイトより <http://www.kokuminhogo.go.jp/arekore/tokucho.html>

国民保護法の範囲：緊急対処事態

～攻撃対象施設等による分類～

危険性を内在する物質を有する施設等に対する攻撃が行われる事態



<事態例>

原子力事業所などの破壊

大量の放射性物質などが放出され、周辺住民が被ばくするとともに、汚染された飲食物を摂取した住民が被ばくします。

石油コンビナート、可燃性ガス貯蔵施設などの爆破

爆発・火災の発生により住民に被害が発生するとともに、建物やライフラインなどの被災により、社会経済活動に支障が生じます。

危険物積載船などへの攻撃

危険物の拡散により沿岸住民への被害が発生するとともに、港湾や航路の閉塞、海洋資源の汚染など、社会経済活動に支障が生じます。

多数の人が集合する施設及び大量輸送機関等に対する攻撃が行われる事態



<事態例>

大規模集客施設、ターミナル駅などの爆破

爆破による人的被害が発生し、施設が崩壊した場合は被害が多大なものとなります。

～攻撃手段による分類～

多数の人を殺傷する特性を有する物質等による攻撃が行われる事態

※ダーティボム



放射性物質を散布することにより、放射性汚染を引き起こすことを意図した爆弾

<事態例>

ダーティボム※などの爆発

爆弾の破片や飛び散った物体による被害、熱や炎による被害などが発生し、放射線によって正常な細胞機能が攪乱されると、後年、ガンを発症することもあります。

生物剤の大量散布

人に知られることなく散布することが可能です。また、発症するまでの潜伏期間に、感染した人々が移動し、後に生物剤が散布されたと判明した場合には、既に広域的に被害が発生している可能性があります。ヒトを媒体とする生物剤による攻撃が行われた場合には、二次感染により被害が拡大することが考えられます。

化学剤の大量散布

地形・気象などの影響を受けて、風下方向に拡散し、空気より重いサリンなどの神経剤は下をはうように広がります。

破壊の手段として交通機関を用いた攻撃等が行われる事態

<事態例>

航空機などによる自爆テロ

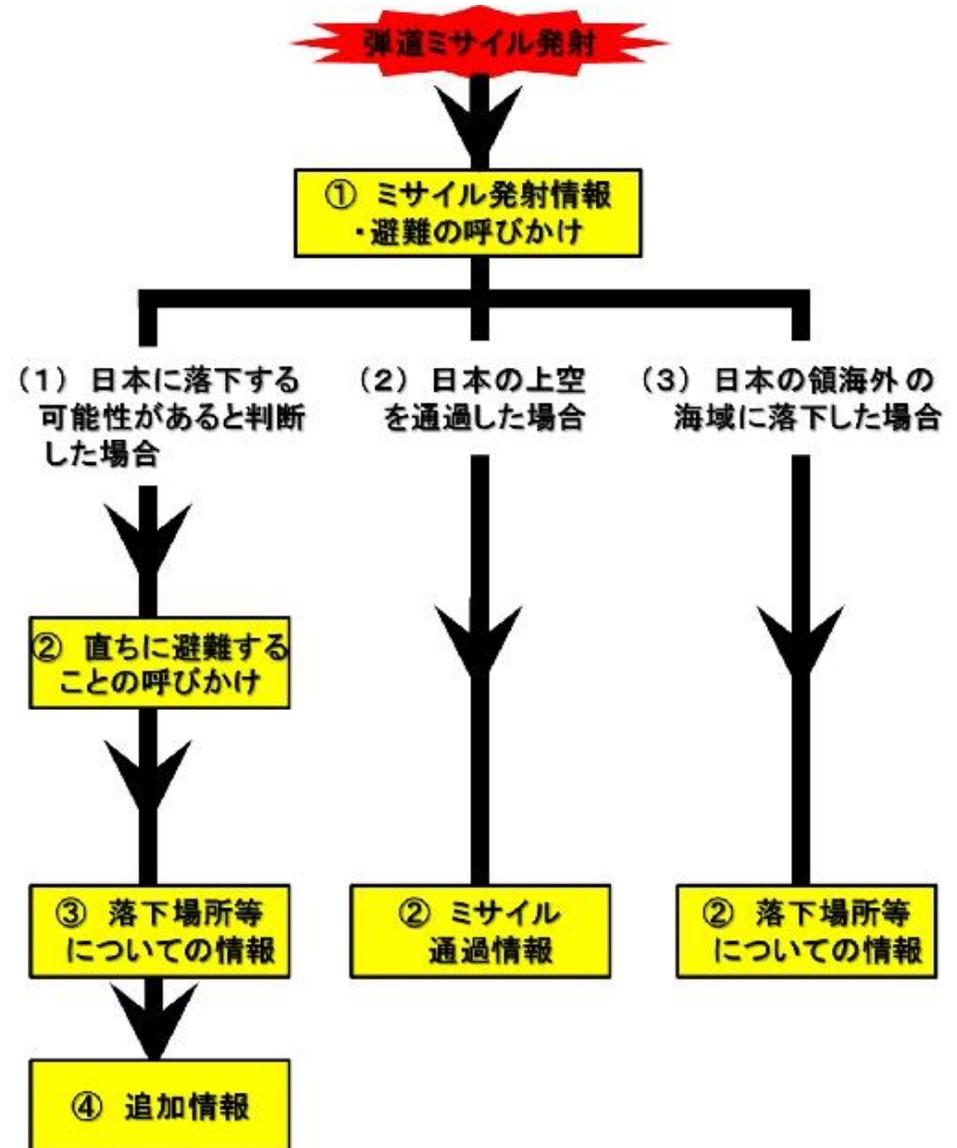
爆発・火災などの発生により住民に被害が発生するとともに、建物やライフラインなどが被災し、社会経済活動に支障が生じます。



北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達について

内閣官房:国民保護ポータルサイトより

- 北朝鮮は過去に例を見ない頻度で弾道ミサイルを発射し、平成28年8月以降、弾道ミサイルの弾頭部分が日本の排他的経済水域(EEZ)内に落下する事案も起きている。
- 政府としては、いかなる事態にも対応することができるよう緊張感をもって必要な対応に万全を期している北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する場合、弾道ミサイルは極めて短時間で日本に飛来することが予想される。(※2)。
- 仮に、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、政府としては、24時間いつでも全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用し、緊急情報を伝達する。逆に、日本の領土・領海に落下する可能性又は領土・領海を通過する可能性がないと判断した場合は、Jアラートは使用しない。北朝鮮が予告することなく弾道ミサイルを発射した場合には、政府としても、事前にお知らせすることなく、Jアラートを使用することになる。



<http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/nkjalert.html>

弾道ミサイル落下時の行動



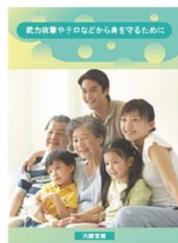
弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート (例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

できる限り頑丈な建物や
地下に避難する。

地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

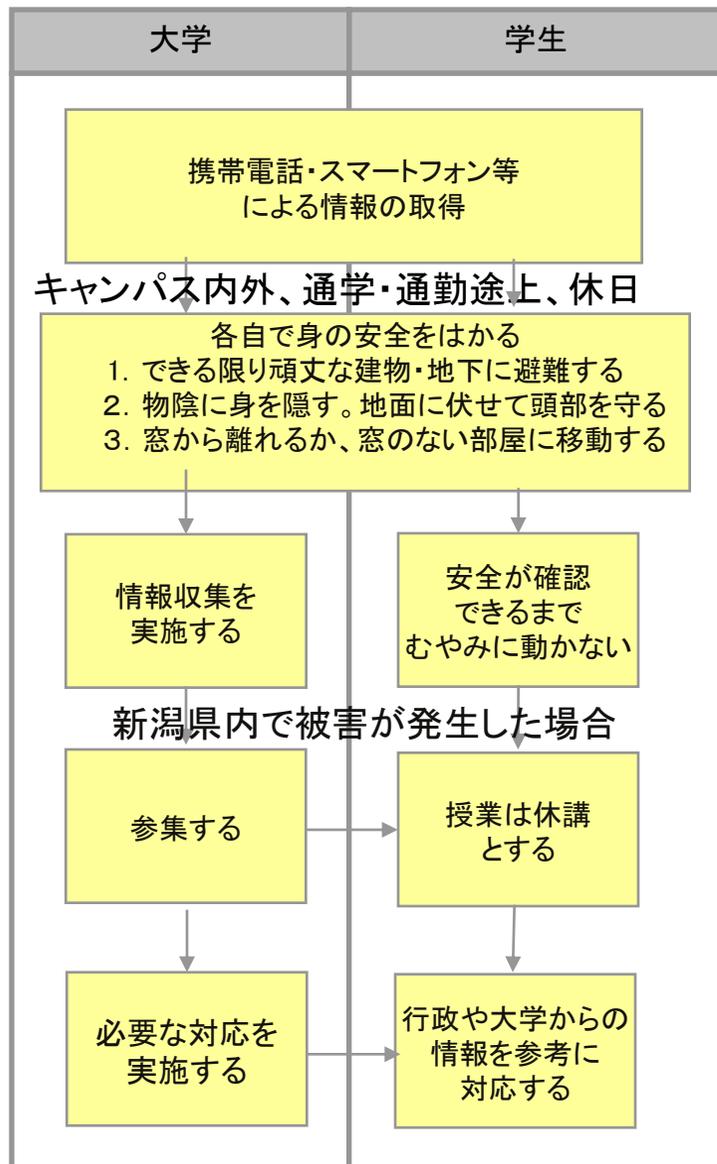
近くに
ミサイル
落下!

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

<http://www.kokuminhogo.go.jp/pc-index.html>

Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の本学の対応



1. 個人で携帯電話・スマートフォン等から情報を収集する

Jアラートが流れたことを覚知する。

2. 各自で身の安全をはかる

①できる限り頑丈な建物・地下に避難する。②物陰に身を隠す。地面に伏せて頭部を守る。③窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

3. 情報収集を実施する

安全が確認された状況か、自治体等からの情報を収集する。被害の情報等を確認する。

4. (キャンパスのある自治体に被害が出たときは)職員は参集する

参集して対応にあたる。授業は休講とする。

5. 必要な対応を実施する

必要な対応は、学生・教職員等の安否確認など、地震対応に準ずる。学生は、行政や大学からの情報を参考に対応する。

留意事項

地域によっては、防災行政無線を通じ、スピーカー等から、Jアラートについて、広く周知される地域もあるが、新潟大キャンパス周辺は、まばらな設置であり、効果は期待できない。よって、各自の携帯電話・スマートフォン等で情報収集に努める。

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A①

Q1 どのような場合にJアラートが使用されるのでしょうか。

A1 全国瞬時警報システム(Jアラート)は、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性又は領土・領海を通過する可能性がある場合に使用します。

逆に、日本の領土・領海に落下する可能性又は領土・領海を通過する可能性がないと判断した場合は、Jアラートは使用しません。

なお、日本の排他的経済水域(EEZ)内にミサイルが落下する可能性がある場合は、Jアラートは使用しませんが、船舶、航空機に対して迅速に警報を発します。

Q2 実際、どのように情報伝達が行われるのでしょうか。

A2 政府からJアラートにより情報伝達があった場合は、市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます。

詳しくは消防庁のホームページをご確認下さい。

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A②

Q3 「ミサイルが発射された」との情報伝達があった場合は、どうすれば良いのでしょうか。

A3 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、弾道ミサイル発射の情報を伝達し、避難を呼びかけます。

屋外にいる場合は近くの建物(できれば頑丈な建物)の中又は地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難してください。

屋内にいる場合は、すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下があれば直ちにそちらに避難して下さい。それができなければ、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

なお、ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとは判断した場合には、その時点で改めて、ミサイルが落下する可能性がある旨を伝達し、直ちに避難することを呼びかけます。

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A③

Q4 「ミサイルが落下する可能性がある」との情報伝達があった場合は、どうすれば良いのでしょうか。

A4 【屋外にいる場合】

近くの建物(できれば頑丈な建物)の中又は地下に避難してください。

近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守ってください。

【屋内にいる場合】

できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q5 どのような建物などに避難すれば良いのでしょうか。

A5 近くの建物(できればコンクリート造り等頑丈な建物)の中又は地下街、地下駅舎などの地下施設に避難してください。

Q6 近くに頑丈な建物又は地下がない場合はどこに避難すれば良いのでしょうか。

A6 近くの建物の中へ避難してください。近くに避難できる建物がない場合には、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A④

Q7 なぜ建物の中又は地下へ避難するのですか。

A7 ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには建物(できれば頑丈な建物)の中又は地下(地下街、地下駅舎などの地下施設)への避難が有効だからです。

Q8 近くに建物又は地下がない場合はどうすれば良いのでしょうか。

A8 ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるため、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。

Q9 避難する際には、避難施設として都道府県知事に指定されている建物又は地下施設に避難しなければならないのでしょうか。

A9 避難施設として指定されているかどうかにかかわらず、近くの建物(できれば頑丈な建物)の中又は地下施設に避難してください。

Q10 自宅にいる場合はどうしたらよいのでしょうか。

A10 すぐに避難できるところに、より頑丈な建物や地下(地下街、地下駅舎などの地下施設)があれば直ちにそちらに避難してください。それができない場合は、自宅で、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A⑤

Q11 建物内に避難してから気を付けることはありますか。

A11 爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q12 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

A12 車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。

車を止めて近くの建物(できれば頑丈な建物)の中又は地下(地下街、地下駅舎などの地下施設)に避難してください。周囲に避難できる建物又は地下施設がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q13 車から出ると危険な場合はどうしたらよいですか。

A13 高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A⑥

Q14 「ミサイルは、●●地方から●●へ通過した」との情報伝達があった場合は、どうすれば良いのでしょうか。

A14 政府からの情報について、テレビやラジオで確認してください。

引き続き避難をしていただく必要はありませんが、もし、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、すぐに警察、消防や海上保安庁に連絡してください。

Q15 「ミサイルが●●地方に落下した可能性がある」との情報伝達があった場合は、どうすれば良いのでしょうか。

A15 続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。

そのため、テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。

また、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。

もし、近くにミサイルが着弾した場合は、弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、次のように行動してください。

・屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。

・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

<http://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/qa.html>

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A⑦

Q16 国民保護サイレン音はどのような時に鳴るのですか。

A16 Jアラートを使用すると市町村の防災行政無線などが自動的に起動し、屋外スピーカーなどから警報が流れますが、この時に原則として国民保護サイレンが鳴ることとなっています。

行政無線の設置状況などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

地域によっては、防災行政無線を通じ、スピーカー等から、Jアラートについて、広く周知される地域もあるが、新潟大キャンパス周辺は、まばらな設置であり、効果は期待できない
よって、各自のスマホや携帯電話等で情報収集に努める

Q17 ミサイル情報を伝達するエリアメール・緊急速報メールの着信音は国民保護サイレン音なのでしょうか。

A17 津波や火山情報などに関するエリアメール・緊急速報メールと同じ着信音です。国民保護サイレン音ではありません。ミサイル情報のエリアメール・緊急速報メールの着信音は以下のサイトをご確認ください。

NTTドコモ エリアメール(災害・避難情報)のページ

au 緊急速報メール(災害・避難情報)のページ

ソフトバンク 緊急速報メール(災害・避難情報)のページ

Yモバイル 緊急速報メール(災害・避難情報)のページ

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A⑧

Q18 所有している携帯電話・スマートフォンが、Jアラート作動時にエリアメール・緊急速報メールを受信するか知りたいのですが。

A18 消防庁において、受信可能な機種かどうかの確認方法と、受信できない場合等の対策をまとめて、ホームページに公表しています。こちらをご覧ください。

(参考:「スマートフォンアプリ等による国民保護情報の配信サービスの活用」)